

金星探査機「あかつき」
(PLANET-C)
メッセージキャンペーン

平成22年2月10日

宇宙航空研究開発機構

PLANET-Cプロジェクトチーム

プロジェクトサイエンティスト 今村剛

キャンペーンの概要

キャンペーンの概要

「お届けします！あなたのメッセージ 暁の金星へ」金星探査機「あかつき」(PLANET-C)やJAXAの事業について周知するとともに、太陽系探査への関心を高め、JAXAの国内外での認知度を高める機会とするため、「あかつき」に搭載するメッセージを募集した。



募集方法

期間：平成21年10月23日(金)－平成22年1月10日(日)

(開始時の予定は平成21年12月25日(金)までだったが、より多くのメッセージを載せるために2週間延長)

個人向けはインターネット(世界天文年2009日本委員会との協力)。

団体向けは寄せ書きなど直筆のものをJAXAが直接募集。

国外でも米国惑星協会の協力によりインターネットで募集。

主な展開方法

- キャンペーンパートナーを公募
 - ⇒ 世界天文年2009日本委員会による個人応募の募集
 - 五藤光学を通じたプラネタリウムなどでの寄せ書きの受付
- プレスリリースや衛星機体公開を利用したメディアへの働きかけ
- 職員の出演番組、連載記事などを利用した告知
- 有力メディア(例:50万部発行のフリーペーパーやマンガ)への掲載依頼
- 自主媒体(ホームページ、メーリングリスト、機関紙等)による告知
- 学校連携： 学校壁新聞を利用した1万5千校への周知
- 地域連携： 相模原市など自治体を通じた周知依頼と記帳所の設置
- 科学館連携： 科学館・プラネタリウム等への協力要請
- イベント・講演会・展示室などでの寄せ書きの実施
- 著名人とのタイアップ(著名人の出演番組・コンサート・ブログなどを通じた周知と話題性の継続がねらい)
- 米国惑星協会や世界天文年2009との連携による国外での展開

展開の例



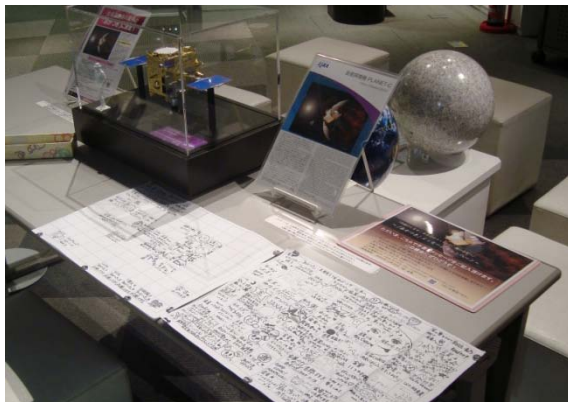
学校連携：壁新聞での紹介



地域連携：相模原市からの贈呈式



科学館連携：記帳所の設置



JAXAの展示室での記帳



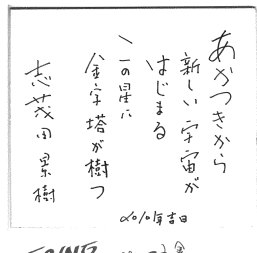
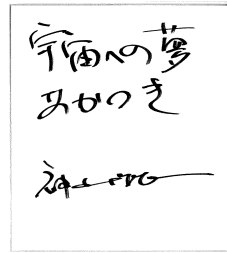
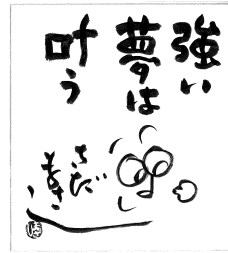
「世界天文年フォトモザイクポスター」



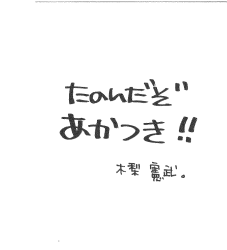
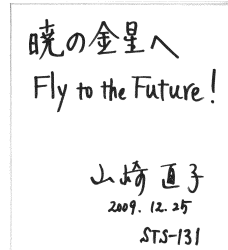
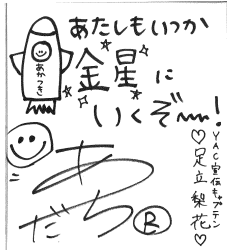
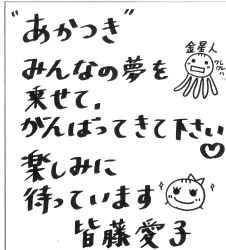
「世界天文年エッセイ賞」との連携

著名人とのタイアップの例

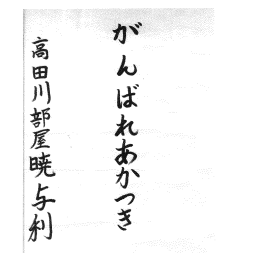
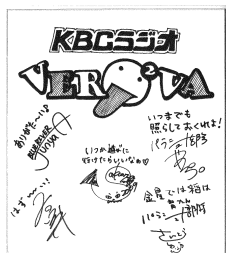
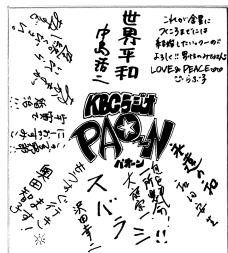
マンガ、
アニメ、
イラスト



音楽、
文芸



テレビ、
ラジオ



タレント

金星・あかつき つながり

キャンペーンの結果

応募総数

<u>260,214名</u>	〔内訳〕 インターネット :	54,632
	団体申込等 :	148,204
	米国惑星協会 :	57,378

(参考) セレーネ「月に願いを！」キャンペーン

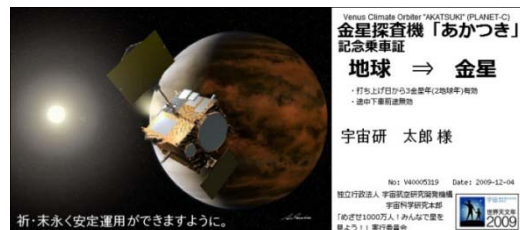
412,627名	〔内訳〕 インターネット :	85,649
	はがき :	11,432
	団体申込等 :	137,417
	米国惑星協会 :	178,129

小・中学校を中心に、団体応募でイラストなど約15万人分。

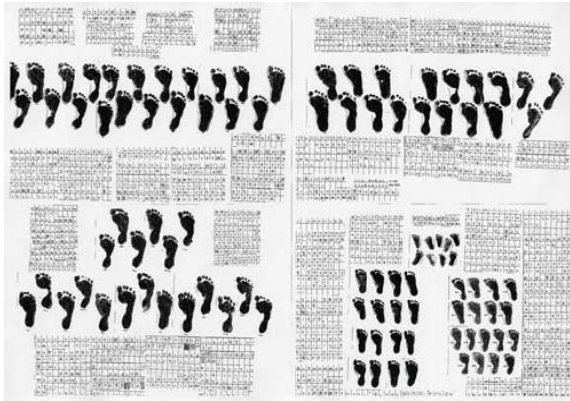
名前だけでなく大半はメッセージも寄せられた。

受領確認とともに記念乗車証(参加証)を返信。

総数の差は主として外国(米国惑星協会)の分。



団体応募の例



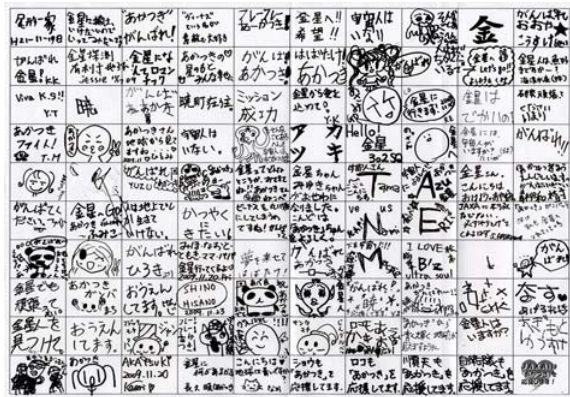
園児の足型と保護者のメッセージ



小学校での寄せ書き (搭載は白黒)



高校の記念行事としての参加



展示室での寄せ書き



レストランでの寄せ書きのようす



インターネット上での寄せ書き (メッセージを微細な文字で表現)

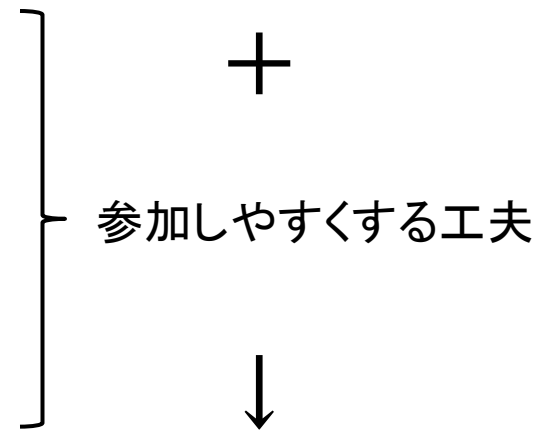
募集期間の延長とその効果

期間延長プレスリリースのポイント

- 小・中学生の冬休みに応募できるようにした（約2週間）
- 団体応募の人数の目安の緩和（100名程度以上→数十名）
- 団体応募台紙のPDFの公開
- 寄せ書きで団体応募できる場所の拡充とリストの作成
- 当初の締切までに応募のあった団体に締切延期を直接通知して追加の取り組みを依頼

- 募集期間延長に伴い、3ページ「主な展開方法」の更なる強化（従前、JAXAキャンペーンで応募した方へのメールでの再周知など）
- メッセージは任意であり、名前などだけでもよいことを再度強調

… 時間的な効果

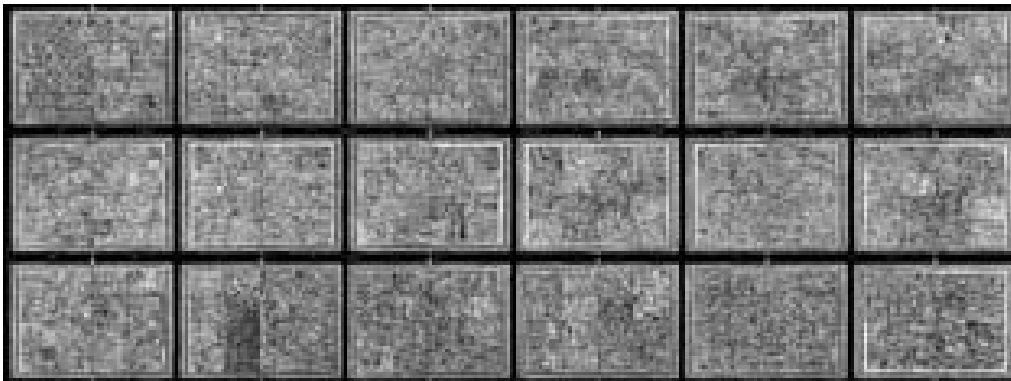


効果

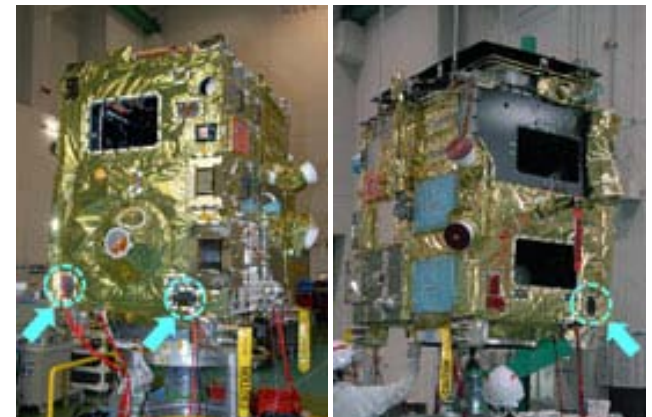
- 参加者の拡大（個人応募は約2万名分、団体応募では最大で約5万名分増加）

今後の予定

- データを100枚のアルミプレートに白黒で印刷し、ベーキング等の処理を行ったのち、バランスウェイトとして機体に取り付ける。
- 探査機の記者公開を相模原キャンパス(3月上旬を予定)および種子島宇宙センター(4月上旬を予定)にて実施する際に、メッセージプレート搭載済みの機体を公開する。
- 2010年度に種子島宇宙センターよりH-IIAロケットにて打ち上げ。
- 約半年後に金星周回軌道に投入。
- その後、約2年のミッション期間を予定。



アルミプレートのイメージ



アルミプレート搭載予定位置(3か所)